



## 九州の鉱工業生産動向

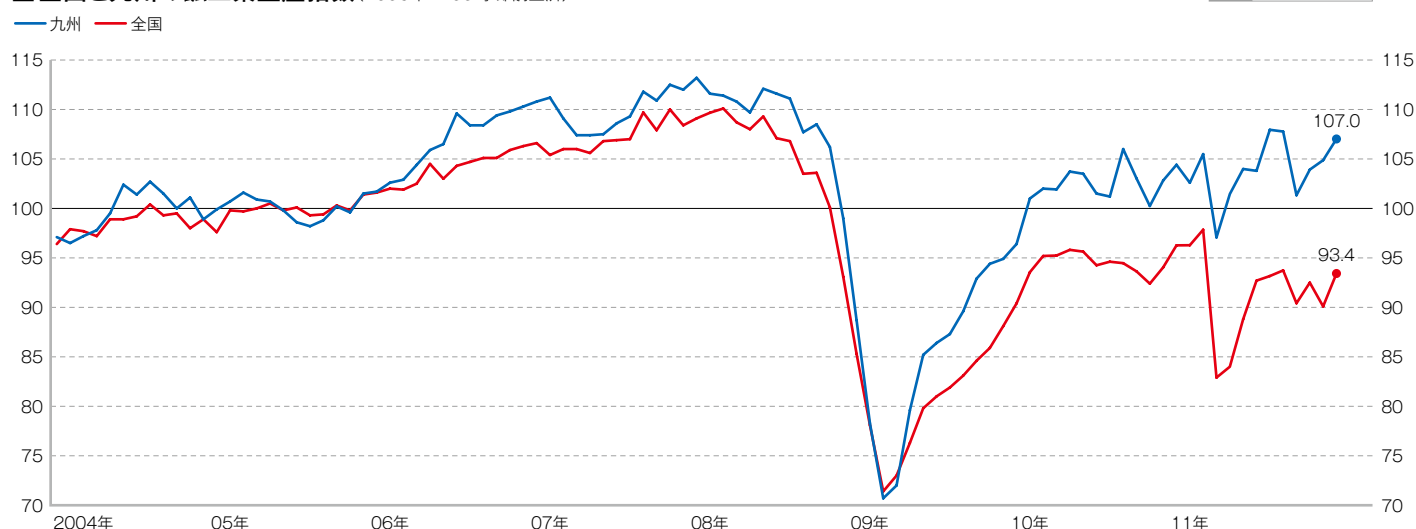
### 基調判断 | 生産は持ち直しの動きが見られる

2011年12月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.1%上昇の107.0と3カ月連続で上昇しました。

国内外の需要は円高や景気不透明感から一部弱めの動きが見られる一方で、タイの洪水被害の影響が緩和したことにより、電子部品・デバイスや輸送機械等が前月から上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

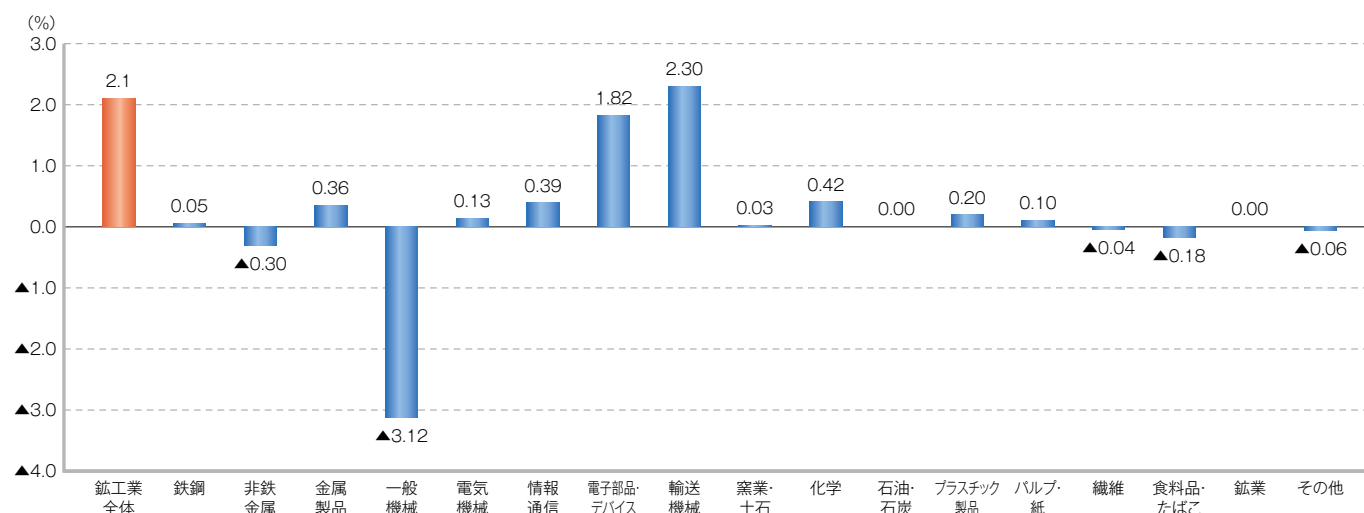


### 業種別動向 | 一般機械が低下した一方、輸送機械、電子部品・デバイスが上昇

業種別の寄与度をみると、アジアの発電所向けに水管ボイラーの需要が一巡した一般機械が低下しましたが、一方で、タイ洪水による部品調達難の影響が緩和したことに伴い、電子部品・デバイスは半導体関連の生産が回復した他、輸送機械では北米向け輸出車や新型軽自動車の生産が好調だったこと等がプラスに寄与しました。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



## 福岡県の最近の経済動向

### 福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

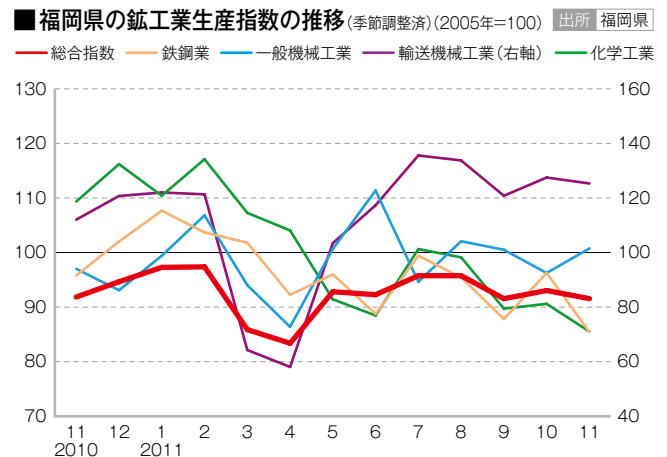
生産活動については、輸送機械がタイでの洪水の影響により減産を余儀なくされた一方、フラットパネルディスプレイ製造装置の増産等もあり、総合指数は底堅く推移する等、緩やかながらも持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、気温低下により防寒衣料品等が好調だった他、新博多駅ビルの開店効果もあり、前年を上回っています。住宅建設については、分譲マンションの着工が好調で前年を上回りました。

### 1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.4となり、前月比1.6%低下しました。

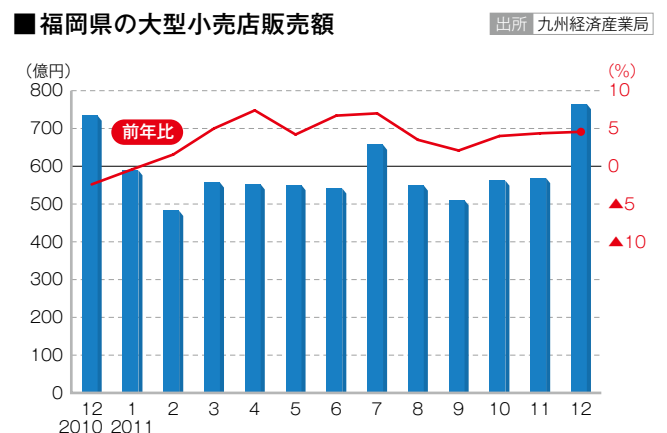
主要業種では、フラットパネルディスプレイ製造装置の増産等により一般機械が上昇したものの、鉄鋼、化学で海外向けの製品に減産の動きが見られた他、輸送機械ではタイ洪水による部品調達難の影響で自動車の生産が減少したことが、マイナスに寄与しました。



### 2.大型小売店 | 11ヵ月連続で前年を上回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比4.6%増の768億円と、11ヵ月連続で前年を上回りました。

紳士・婦人靴、アクセサリ等の身の回り品や気温低下によりセーター等の防寒衣料品が好調だった他、新博多駅ビルの開店効果もあり、前年を上回る状況が続いています。



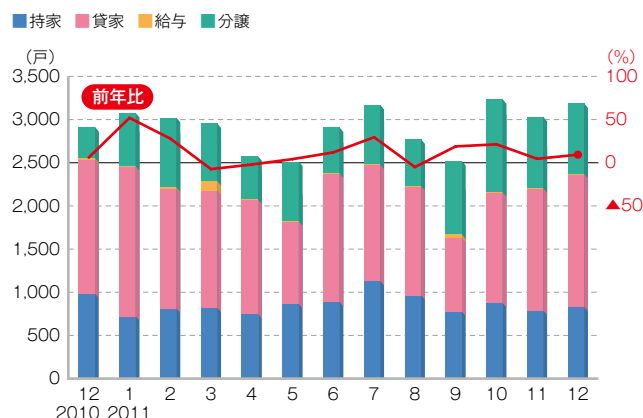
### 3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比9.4%増の3,186戸と前年を上回りました。

持家は前年を下回ったものの、分譲はマンションの販売在庫の減少等を背景に新規着工が増加したことが寄与し、前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



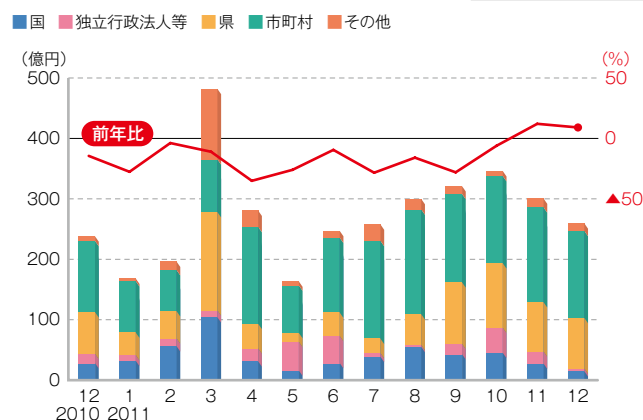
### 4.公共工事 | 請負金額は2カ月連続で前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.2%増の1,081件、金額は同9.0%増の259億円となり、請負金額は2カ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「国」「独立行政法人等」が前年を下回ったものの、「市町村」で学校給食センター工事等の大型案件があったことで、全体では、件数、金額ともに増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



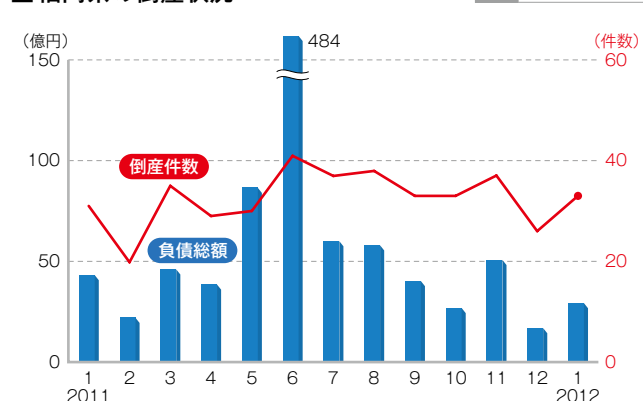
### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年からほぼ横ばいの33件、負債総額は同33.4%減の29億円となりました。

中小企業金融円滑化法等の金融支援制度により負債総額は総じて低い水準で推移していますが、今月は、建設・建築関連企業で倒産が相次ぎ、前月比では件数、金額ともに増加しました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

生産活動については、タイでの洪水の影響に伴う部品調達難から、輸送機械、電子部品・デバイスが低下した一方、一般機械や食料品・たばこには増産の動きが見られる等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

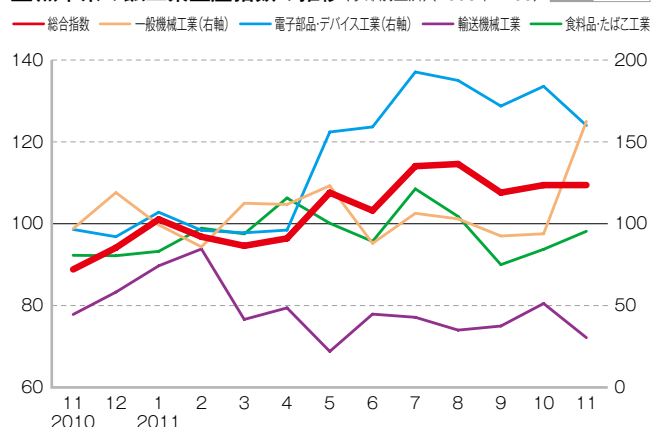
消費面では、大型小売店販売額は、昨年の年初にショッピングセンターが閉店した影響が続いており、10ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設は、大型分譲地の販売が好調で持家の着工が相次いだことに加え、分譲マンションも好調で前年を上回りました。

### 1.生産活動 | 総合指数は前月から横ばい

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は109.5と、前月から横ばいとなりました。

主要業種では、タイ洪水に伴う部品調達難の影響により輸送機械、電子部品・デバイスの低下がマイナスに寄与した一方で、半導体製造装置の増産があった一般機械や清涼飲料水の生産が好調な食料品・たばこの上昇がプラスに寄与しました。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県



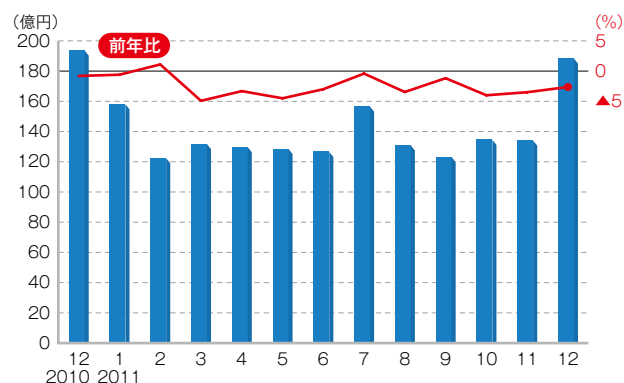
### 2.大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比2.6%減の189億円と、10ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年の年初に大型ショッピングセンターが閉店した影響に加えて、婦人服や飲食料品等の販売が振るわず、全体では前年を下回っています。

■熊本県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



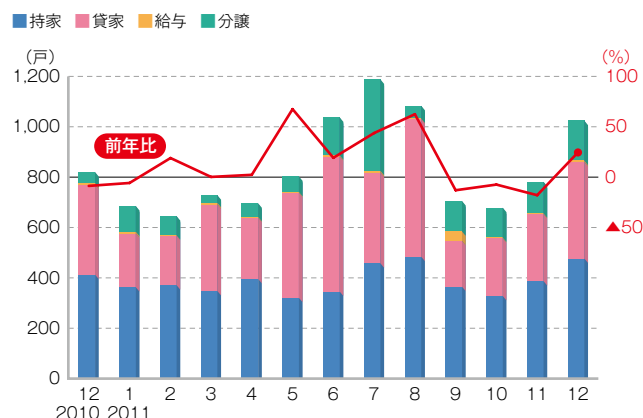
### 3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比24.9%増の1,024戸と4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

持家は大型分譲地の販売が好調で着工が相次いだことに加え、分譲マンションも好調で、貸家も前年の水準を上回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



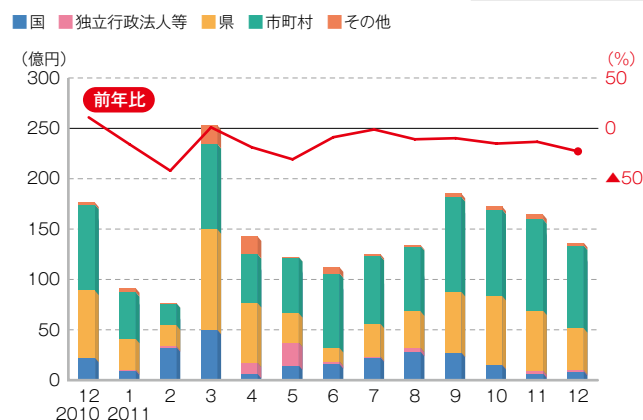
### 4.公共工事 | 請負金額は9ヵ月連続で前年を下回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数が前年からほぼ横ばいの858件、金額は同22.7%減の136億円となり、請負金額は9ヵ月連続で前年を下回りました。

今月は大型案件に乏しく、発注者別で見ると、「その他」以外は全て前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

1月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年から横ばいの8件、負債総額は同43.7%減の9億円となりました。

建設関連で約5億円の大型倒産があったものの、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産抑制に寄与し、負債総額は総じて低い水準で推移しています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 減速の兆しが見られる

生産活動については、電子部品・デバイスは半導体集積回路の生産が大幅に落ち込んだ他、一般機械でも発電用ボイラー等の需要が一巡する等、減速の兆しが見られます。

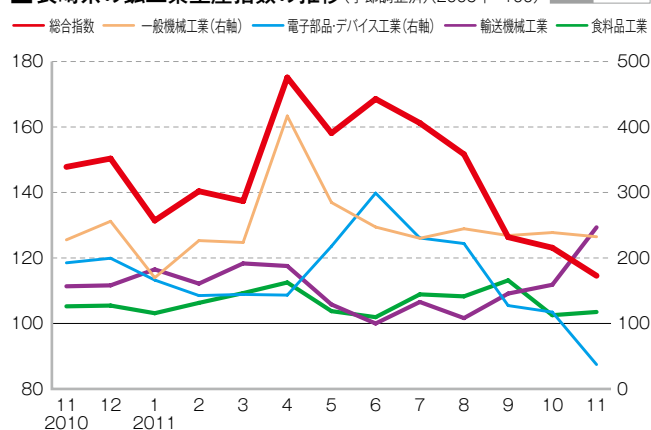
消費面では、大型小売店販売額は、7月末の百貨店閉店の影響が大きく、5ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設については、持家と貸家が前年を大幅に下回ったことに加え、分譲マンションの着工が無かったことがマイナスに寄与しました。

### 1.生産活動 | 総合指数は5ヵ月連続で低下

11月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は114.7となり、前月比6.9%低下しました。

主要業種では、新造船の生産により輸送機械は上昇したものの、電子部品・デバイスは昨年後半からの海外需要の減速とタイでの洪水の影響による半導体集積回路の生産減少で大幅に落ち込んだ他、一般機械でも発電用ボイラー等の需要が一巡したことが、マイナスに寄与しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 長崎県



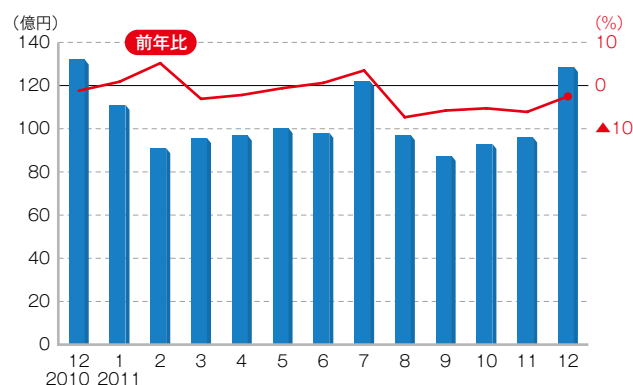
### 2.大型小売店 | 5ヵ月連続で前年を下回る

12月の大型小売店販売額は、前年同月比2.5%減の129億円と、5ヵ月連続で前年を下回りました。

紳士服、寝具等の一部品目は前年を上回ったものの、7月末の百貨店閉店の影響も依然続いており、主力の飲食料品が前年を下回る等、全般的に低調に推移しました。

■長崎県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局





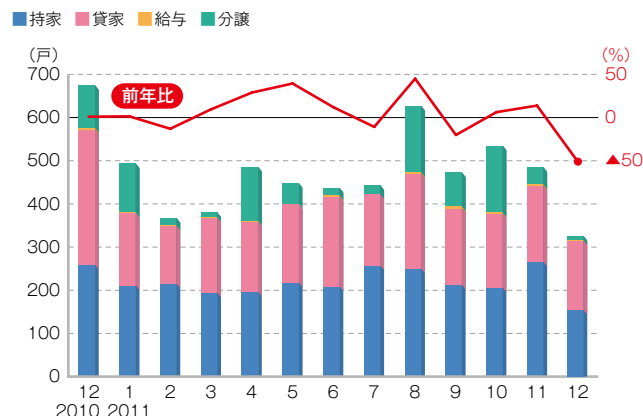
### 3.住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を下回る

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比51.7%減の326戸と前年を下回りました。

持家と貸家が前年を大幅に下回ったことに加え、分譲はマンションの着工が無かったことがマイナスに寄与しました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



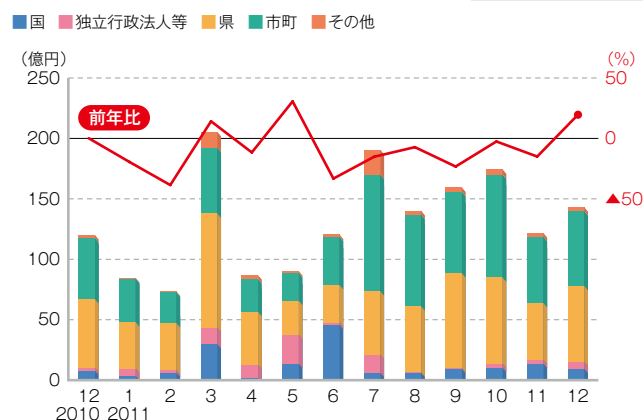
### 4.公共工事 | 請負金額は7カ月ぶりに前年を上回る

12月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比5.2%減の490件、金額が同19.2%増の143億円となり、請負金額は7カ月ぶりに前年を上回りました。

今月は学校校舎建築や体育施設関連で大型案件の発注が相次ぎ、すべての発注者で金額は前年を上回っています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

1月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、負債総額は、乗用旅客自動車運送業等で大型倒産があった前年同月からの反動減で、前年同月比86.8%減の6億円となりました。また、件数は6件と前年からほぼ横ばいとなりました。

卸売業、金属製品加工業で、販売不振を原因とする不況型の倒産が発生していますが、負債総額は概ね抑制された水準で推移しています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

